

コード	103030106
記入日	H24.10.31

新規事業評価表【事前評価】

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	荒木 順一郎

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	青方港新待合所建設事業
----------	-------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	1
施策コード	103	施策名称	しまを支える交通基盤づくり	項コード	2
基本事業コード	10303	基本事業名称	港湾の整備	目コード	1
事務事業コード	1030301	事務事業名称	ターミナルビル特別会計事業費	細目コード	特別会計
関連計画	法令・条例規則等				

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標			
(対象1) 町民	(対象指標1) 22,235人(※24.10.1現在)			
(対象2)	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標			
・現在の旅客ふ頭は、湾奥に位置し十分な船回しが確保できず、新船の就航に伴い、現在よりさらに安全性を高める必要がある。また、現可動橋は、建設後31年が経過しており、現在の設計基準荷重(20t)では荷重不足で大型トラック(25t)に対応できていない状況である。よって、安全で適正な港湾の運営を図るために、新に整備した旅客ふ頭にシフトする必要がある。 →平成25年度：実施設計、新待合所建設、歩道用シェルター工事 →平成25年12月以降 供用開始予定	(活動指標名称) (活動指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)			
	① 実施設計委託業務	1.0%	実施設計1.0式	平成25年度
	② 待合所建設	1.0%	工事1.0式	平成25年度
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標			
・現旅客ふ頭を、湾奥から湾前面に移転することにより、十分な船回しが確保され、貨物船や漁船等が集中する湾奥部でなく、安全なフェリーの回頭をさせることができる。また、現在の設計基準荷重に合った可動橋を使用することにより運搬車両への安全性の確保を提供できる。 よって、安全で適正な港湾の運営を図るために、新に整備した旅客ふ頭にシフトし、新待合所建設によりスムーズな旅客の移動を確保することを目的とする。	(成果指標名称) (成果指標数値) (指標積算根拠) (目標達成年度)			
	① 進捗率	100%	実績事業費÷計画事業費	平成25年度
	②			

実施 (DO)

	単位	全体計画								
		H 25 ~ H -	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降	
活動指標	① 式	1.0		1.0						
	② 式	1.0		1.0						
成果指標	① %	100		100						
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	72,387		72,387						
直接事業費 A	千円	71,687		71,687						
人件費 B	千円	700		700						
内 訳	従事職員数	人	0.1	0.1						
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円	32,600	32,600						
	県補助金	千円								
	起 債	千円	39,000	39,000						
	その他	千円								
一般財源	千円	787		787						

評価 (CHECK)

評価項目		内 容
1 次 評 価	・事業の緊急性・必要性はありますか。	平成24年度長崎県リブレイス事業により『(仮称)新フェリー太古』着工、平成25年12月以降就航予定に間に合わないものの、出来るだけ早く利用者の利便性を高めるために、待合所を建設する必要がある。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	平成24年度長崎県離島地域交流促進基盤強化事業費補助(リブレイス事業)により、『(仮称)新フェリー太古』新船建造により、接岸する施設の待合所を建設し、利用者の利便性の向上を図るものであり適正である。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	安全な回頭(船廻し)を確保するとともに、観光客、島民の安心安全な海上輸送の環境整備の向上を図るものである。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	港湾利用者(旅客・観光客・住民)に安全な移動空間を提供できない。
	・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	国の補助要綱(『しまは日本の宝』しまの観光サポート事業は補助率5割)によるものであり、削減できない。
	・受益者負担は適正ですか。	港湾利用者(旅客、観光客、住民)が利用するものであり、適正である。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	利用者及び港湾の安全確保を図るとともに、安全で適正な港湾の運営、利用者の利便性の向上に資する事業であると判断するが、事業の実施にあたっては、平成25年度に補助金の交付が確実なものと判断される場合に実施すること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

事業の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>計画どおりに事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施期間を見直して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を減額して事業を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合して実施する</td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次		●	●		計画どおりに事業を実施する				事業内容を見直して事業を実施する				実施期間を見直して事業を実施する				事業費を減額して事業を実施する				類似事業と整理統合して実施する	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に計画どおり実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に計画を見直して実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>次年度以降に類似事業と整理統合して実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>当分の間は実施しない</td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次					次年度以降に計画どおり実施する				次年度以降に計画を見直して実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する				当分の間は実施しない
	1次	2次	3次																																											
	●	●		計画どおりに事業を実施する																																										
				事業内容を見直して事業を実施する																																										
				実施期間を見直して事業を実施する																																										
				事業費を減額して事業を実施する																																										
			類似事業と整理統合して実施する																																											
1次	2次	3次																																												
			次年度以降に計画どおり実施する																																											
			次年度以降に計画を見直して実施する																																											
			次年度以降に類似事業と整理統合して実施する																																											
			当分の間は実施しない																																											

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。